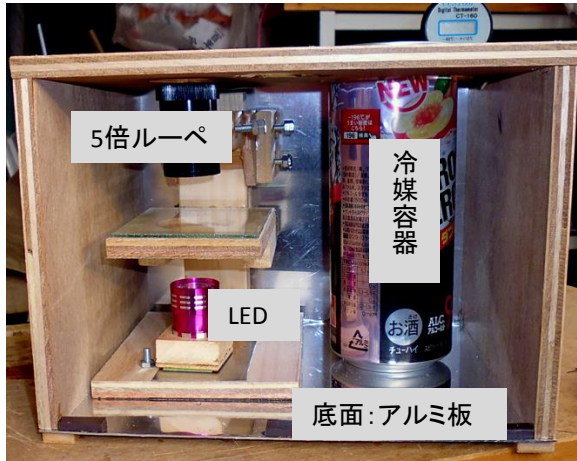
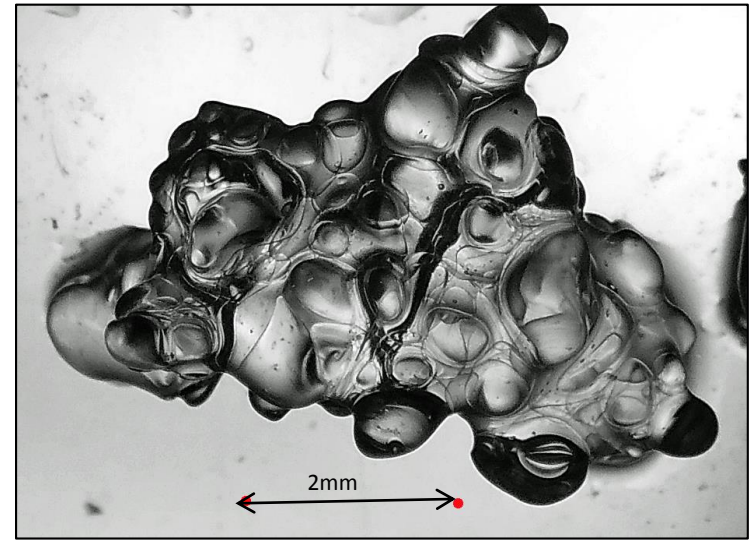
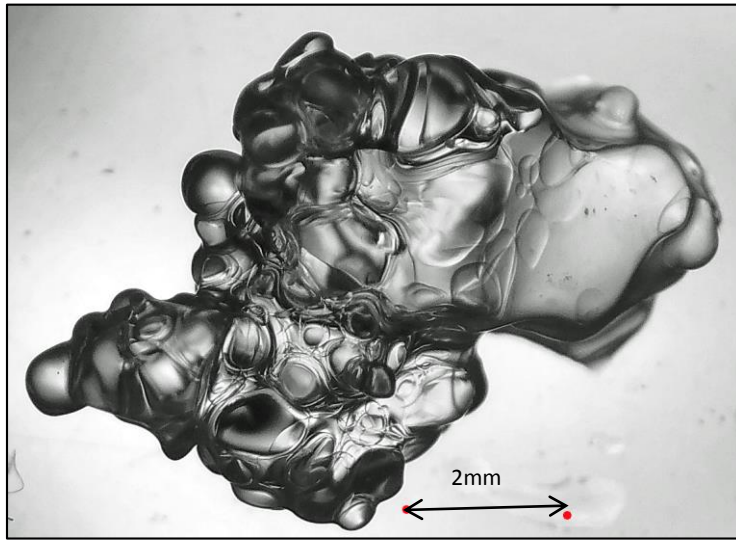
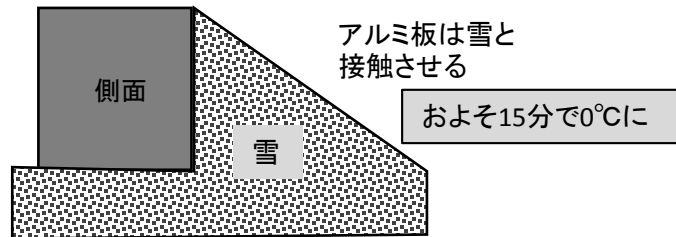
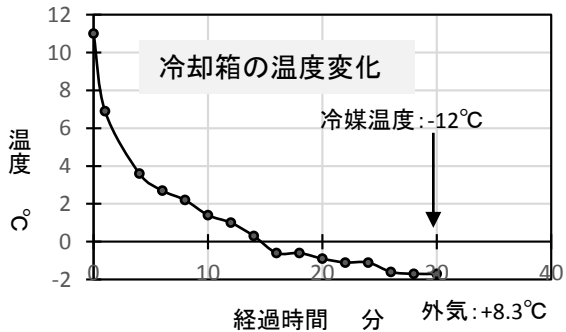
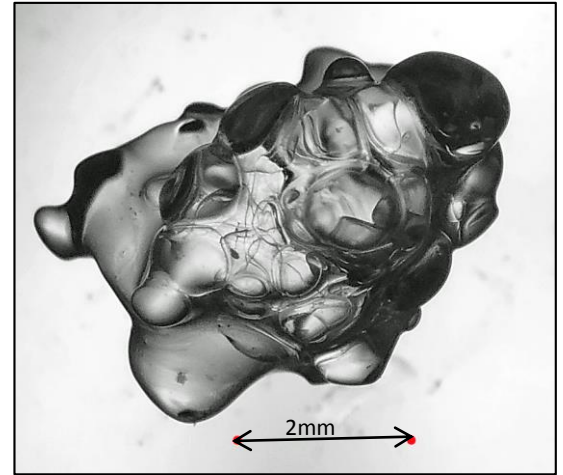
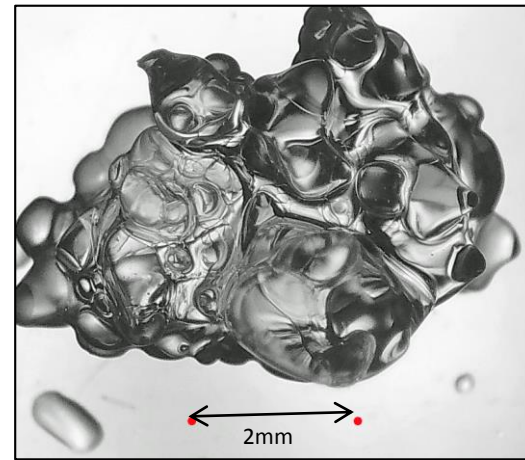


冷媒容器: 500ml耐ハイアルミ缶
 撮影口: デジカメのレンズを入れる
 のぞき穴: 箱前方のカーテンの間から手を入れて、この穴から見ながら試料調整をする。
 底面と裏面は雪に接触させる。両側面もアルミ板が良からう。



正面のカーテンを取り外した状態

外気温がプラスの時に、試料の雪粒子を融かさずに撮影する「冷却箱」その3。
 この方式が最良か。
 さらなる改良点:
 1. 両側面もアルミ板に。
 2. 正面のカーテンに工夫。



表面付近のざらめ雪

2019/3/20 16:00 曇り、風あり
 気温+8.8°C 冷却箱の改良、その3。
 撮影中、箱内温度は-0.2°C付近。